



すくすくだより



新緑も深まり5月になりました。ご入園・進級で新しい生活環境になって1ヶ月、みなさんだいぶ慣れてきたのではないのでしょうか。大型連休が近づき、みなさんのご家庭ではどこへ行こうか、何をしようかと色々計画されているかもしれませんね。

大型連休でみなさん行動範囲を広げてお出かけになる方も多い中、昨年も大流行した「麻疹(はしか)」が現在も北海道や関東地域で流行しています。そこで、今回は怖い感染症「はしか(麻疹)」のお話をします。

はしか(麻疹)流行中!?



はしか(麻疹)は感染力が強く、乳幼児がかかると重症化しやすく、「命」にかかわる病気です。はしかの感染ルートは、空気や接触、咳・くしゃみなどによる飛沫感染など様々です。昨年は大学生に集団感染するケースがあったように、感染力が強く集団感染しやすいため、お子さんが集団生活する場合には早めの予防接種をお勧めします。

カタル期：2～4日間



感染後に潜伏期10～12日を経て発症します。38℃前後の発熱が2～4日間続き、倦怠感、不機嫌となります。せき、鼻みず、くしゃみなどの上気道炎症症状と結膜充血、目やになどの結膜炎症状が現れ、次第に症状はひどくなります。

乳幼児では消化器症状として下痢、腹痛を伴うことも多いです。発疹が出る1～2日前頃に頬粘膜の奥歯のあたりに、やや膨らんだ紅色に囲まれた約1mm径の白色の小さい斑点(コプリック斑)ができます。

注意：最も感染力が強い時期です!!

予防法=予防接種!



はしかは中耳炎や肺炎を併発しやすく、まれに命に関わる脳炎も併発します。そして発症年齢が低いほど死んでしまう危険性が高いため、感染を予防することが大切です。

また、怖い合併症として亜急性硬化性全脳炎があります。この病気は麻疹ウイルスに感染後、数年から十数年あと(学童期に多い)に知能障害、運動障害、最終的には死んでしまう病気です。

そこで発症予防には混合ワクチン(MRワクチン)が有効です。

※米国では亜急性硬化性全脳炎は、ワクチンの広がりによりとって減りました。

予防接種のスケジュール

	接種対象年齢	通知書発送時期
第1期	1歳のお誕生日から 2歳のお誕生日前日	1歳になる前月下旬
第2期	5～7歳未満かつ 小学校入学前の1年間	5月中(発送済)



★ 予防接種に関するお問い合わせ先
市役所健康課予防業務グループ

TEL 51-2380 FAX 56-2813



発疹期：3～5日間

カタル期での発熱が1℃程度下降した後、半日くらいのうちに再び高熱(多くは39℃以上)が出ます。

特有の発疹が耳の後・くびり顔面・体幹部・腕にみられます。発疹は暗い赤色となり、徐々にうすくなります。

発疹が全身に広がるまで、発熱(39℃以上)が3～4日間続きます。

回復期

発疹が出た後、3～4日間続いた発熱も回復期に入ると下がり、元気も出てきます。発疹の跡は、しばらく残ります。

合併症のない場合、7～10日後には回復します。

5月の健診日程のお知らせ

4か月児健診(受付9:00～10:50)

13・20・27日

1歳6か月児健診(受付12:50～14:00)

7・14・21・28日

3歳児健診(受付12:50～14:00)

1・8・15・22・29日

場所 母子保健センター(子ども未来館の隣)

対象者には、ご自宅へ健診日の1か月前に健診票が郵送されますので、この案内の日時に健診を受けてください。

豊橋市役所 保育課 保育グループ
保健だより

2008年5月1日